

2020年度（2021年3月期） 第2四半期決算説明会

2020年11月17日

東証1部 4559

ゼリア新薬工業株式会社
代表取締役社長 伊部 充弘

1. 訂正の理由

「2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表後、海外子会社が保有する製品在庫に係る未実現利益の消去金額について、一部訂正すべき事項が判明したことによるもの。

2. 訂正の内容

連結経営成績（累計）・連結財政状態の主要計数の変動は以下のとおり。

連結経営成績（累計）の主要計数の訂正について

	訂正前	訂正後	増減額
営業利益	1,388百万円 △20.2%	1,598百万円 △8.1%	210百万円
経常利益	1,097百万円 △32.6%	1,307百万円 △19.7%	210百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,218百万円 △1.0%	1,388百万円 12.9%	170百万円

（注）％表示は対前年同四半期増減率

連結財政状態の主要計数の訂正について

	訂正前	訂正後	増減額
総資産	106,167百万円	106,377百万円	210百万円
純資産	53,388百万円	53,558百万円	170百万円
自己資本比率	50.1%	50.2%	—

I. 2020年度第2四半期連結業績

I-1 概要

I-2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響

I-3 医療用医薬品事業

I-4 コンシューマーヘルスケア事業

I-5 海外売上高

I-1 概要

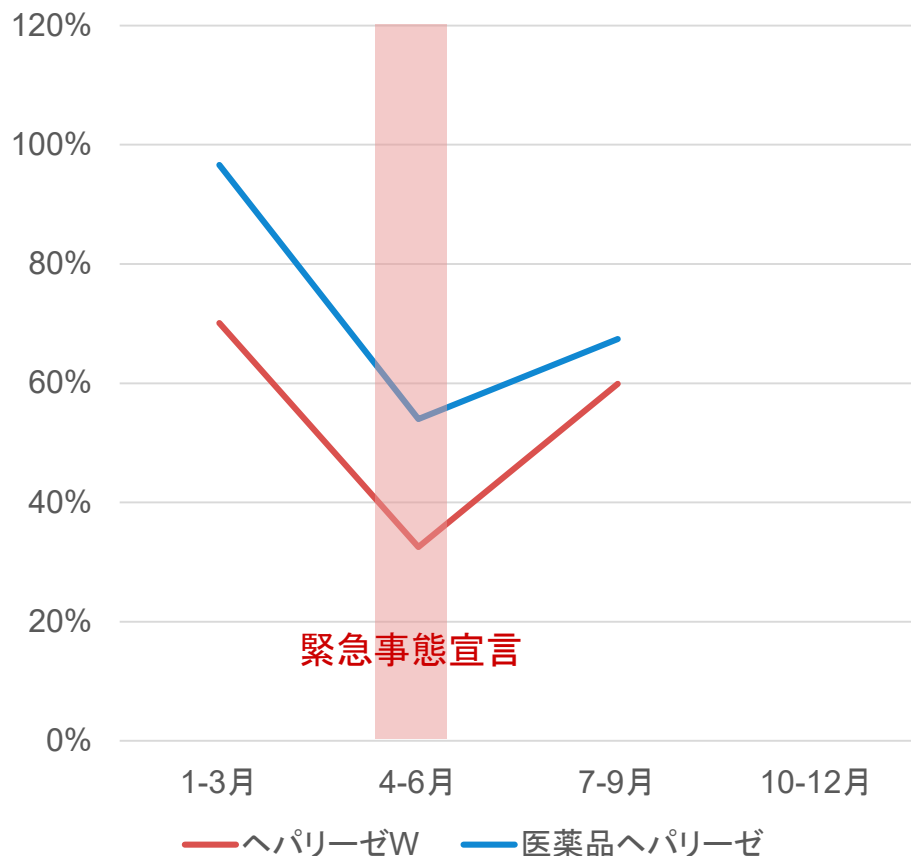
(単位：百万円)		2019年度 上期実績	2020年度 上期実績	前同 差異率	8/4公表 予想値	対公表予想値 差異率
売 上 高		30,317	26,809	-11.6%	28,000	-4.3%
売 上 総 利 益		21,760	19,156	-12.0%	—	
販 売 管 理 費		20,021	17,558	-12.3%	—	
	研 究 開 発 費	3,264	2,529	-22.5%	—	
	広 告 宣 伝 費	1,629	838	-48.6%	—	
営 業 利 益		1,738	1,598	-8.1%	1,700	-6.0%
経 常 利 益		1,628	1,307	-19.7%	1,400	-6.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益		1,230	1,388	12.9%	1,500	-7.4%

I-2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響（国内）

- ◆ 緊急事態宣言発令時：ヘパリーゼ群（清涼飲料水・医薬品）の出荷が大幅減
- ◆ 医療用医薬品については若干の影響にとどまった

コンシューマーヘルスケア事業

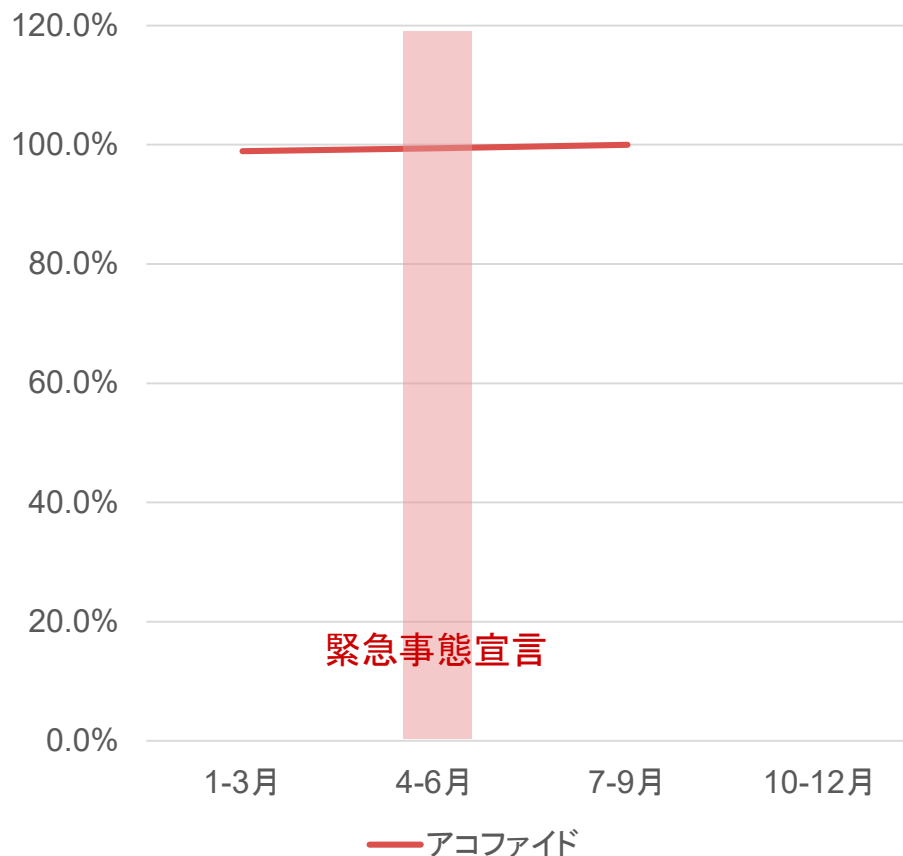
（前年同期比）



（前年比出荷金額推移）

医療用医薬品事業

（前年同期比）



（前年比医療機関への納入数量推移）

1. コンシューマーヘルスケア事業

マイナスインパクト

- コンビニエンスストア市場 ヘパリーゼWシリーズが大幅減
緊急事態宣言解除後、徐々に回復しているが前年の水準には届いていない
- 薬局ドラッグストアで販売する医薬品ヘパリーゼも、コンビニエンスストア市場ほどではないが影響あり
- コンドロイチン群にも影響あり

プラスインパクト

- 殺菌消毒薬などの衛生用品が好調に推移

2. 医療用医薬品事業

- 医療機関へのMR訪問規制
- 患者の受診行動変化
- 品目によってはCOVID-19の影響が出ているが、その程度はコンシューマーヘルスケア事業と比較して大きくはない

3. 海外市場の動向

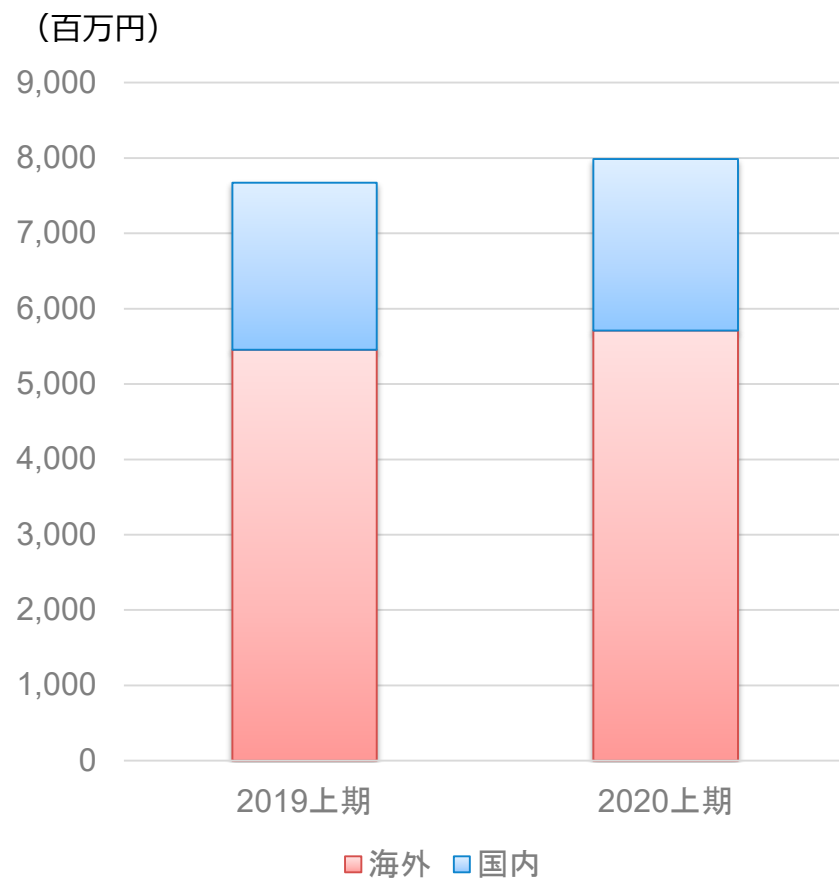
Tillotts

- Asacol 顕著な影響はなし
- Entocort 一部の国向けの出荷が遅延したが解消済み

- ◆ アサコールは海外で引き続き堅調に推移し増加
- ◆ エントコートは海外の一部の国でCOVID-19による出荷遅延が発生

		2019年度 上期	2020年度 上期	
		実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)				
医療用医薬品事業	アサコール	15,691	14,494	-7.6%
	エントコート	7,674	7,987	4.1%
	アコファイド	2,279	1,896	-16.8%
	アコファイド	1,469	1,340	-8.8%
	その他	4,267	3,269	-23.4%

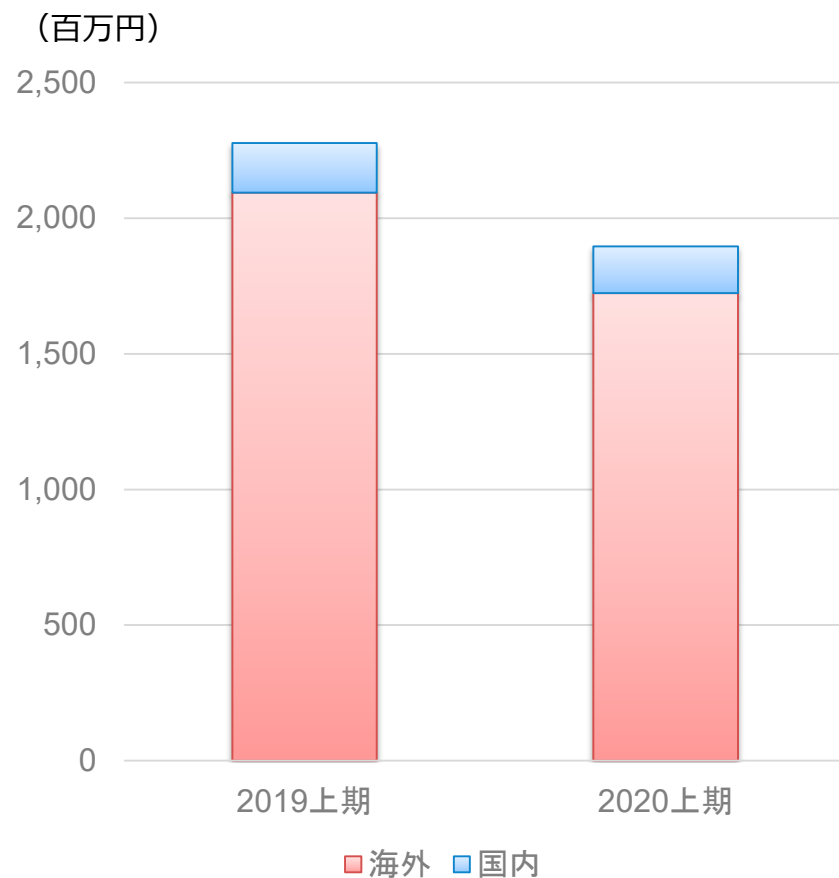
◆ 海外市場が堅調に推移し、前年同期比増収



2020年度上期

- 国内市場
 - 競合品・後発品の市場浸透
 - 2020年4月より当社単独販売
- 海外市場 増加
 - イギリスが好調に推移
 - 1600mg錠の市場浸透

◆ 海外の一部の国で出荷遅延が発生し、上期は減収

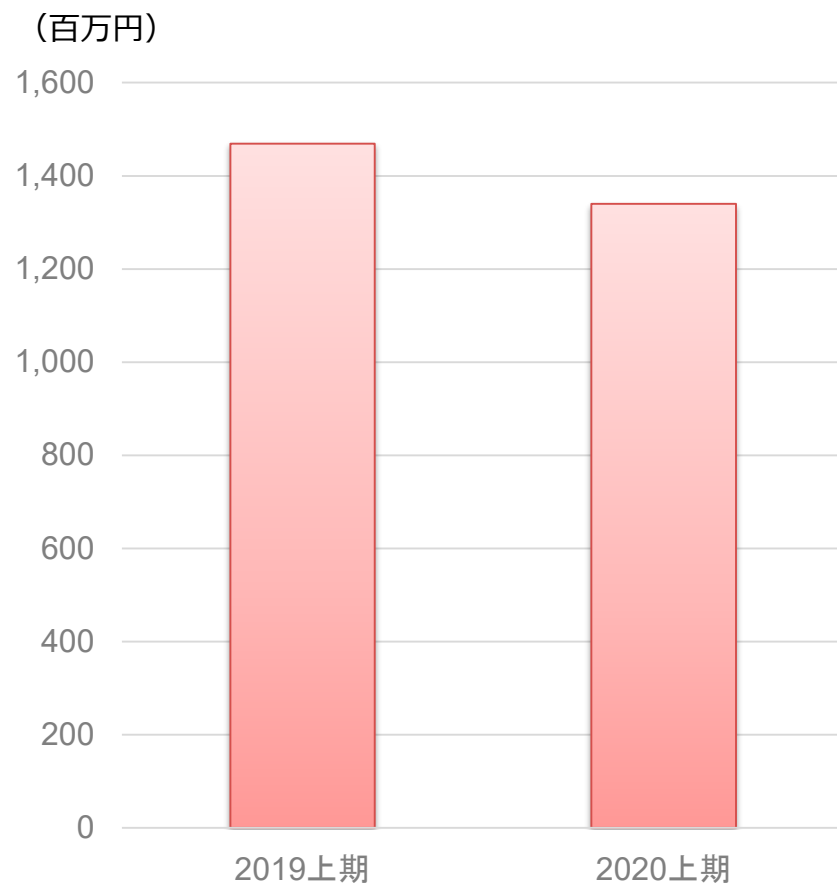


2020年度上期

● 海外市場

- 一部の国においてCOVID-19の影響で、出荷遅延が発生
- 7月以降に遅延分の出荷が再開し、売上は回復基調に

◆ COVID-19拡大による患者受診行動抑制の影響などが表れる



2020年度上期

● COVID-19の影響

- 患者受診行動変化（受診抑制）
- 医療機関が胃内視鏡検査を中止

- 2020年9月1日上市
- 世界83カ国で承認取得され、鉄欠乏性貧血あるいは鉄欠乏症の治療に使用されている薬剤
- 本邦における鉄欠乏性貧血患者数（2018年度）は約490万人
出典：JMDC P-Market(2018年4月～2019年3月)

- 婦人科
- 消化器内科
- 外科

などにおける鉄欠乏性貧血の治療

用法及び用量

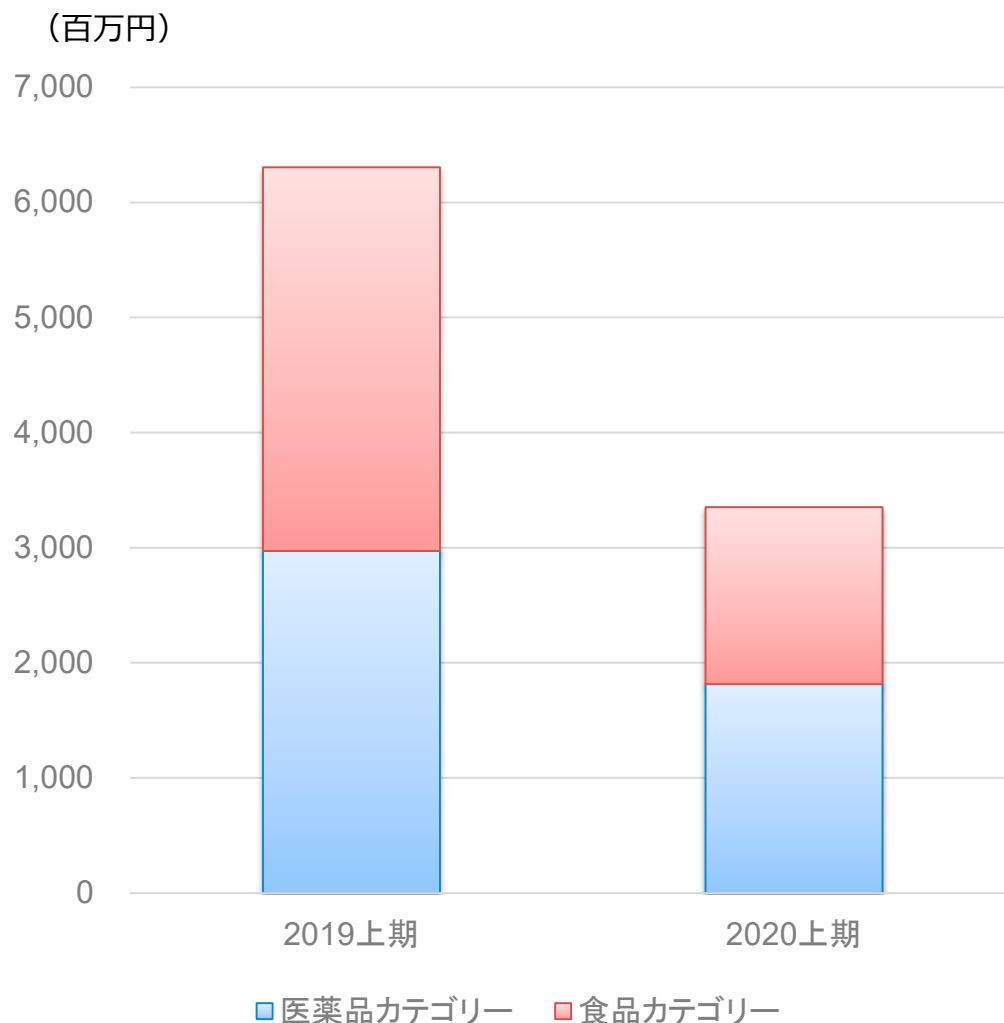
通常、成人に鉄として1回あたり500mgを週1回、緩徐に静注又は点滴静注する。総投与量は、患者の血中ヘモグロビン値及び体重に応じるが、上限は鉄として1,500mgとする。



- ◆ ヘパリーゼ群にCOVID-19の大きな影響
- ◆ コンドロイチン群にもCOVID-19の影響
- ◆ 殺菌消毒薬などの衛生用品が好調に推移

		2019年度 上期	2020年度 上期	
(単位：百万円)		実績	実績	前同伸率
コンシューマーヘルスケア事業	ヘパリーゼ群	14,549	12,237	-15.9%
	医薬品	6,305	3,353	-46.8%
	清涼飲料水 栄養補助食品	2,971	1,816	-38.9%
	清涼飲料水	3,334	1,536	-53.9%
	コンドロイチン群	3,460	2,775	-19.8%
	ウィズワン群	824	784	-4.9%
	その他	3,957	5,323	34.5%

◆ COVID-19感染拡大による外出自粛の影響が大変大きい

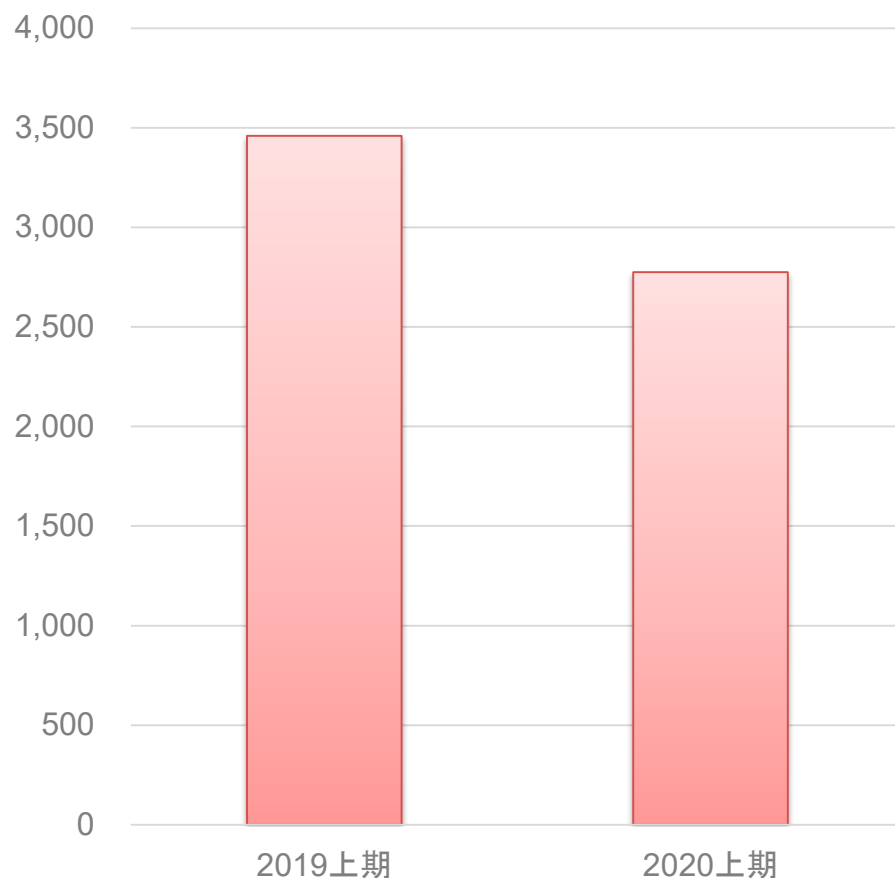


2020年度上期

- 食品カテゴリー（CVS）
 - 春先以降前年実績を大幅に下回る
 - 緊急事態宣言の解除後は回復傾向にあるものの、前年実績には届かず
- 医薬品カテゴリー
 - 液剤、錠剤ともに春先以降、前年実績を下回る
 - 特に液剤への影響が大きい状況
 - 緊急事態宣言の解除後は回復傾向

◆ 売上回復傾向にあったが、COVID-19感染拡大の影響により減少

(百万円)



2020年度上期

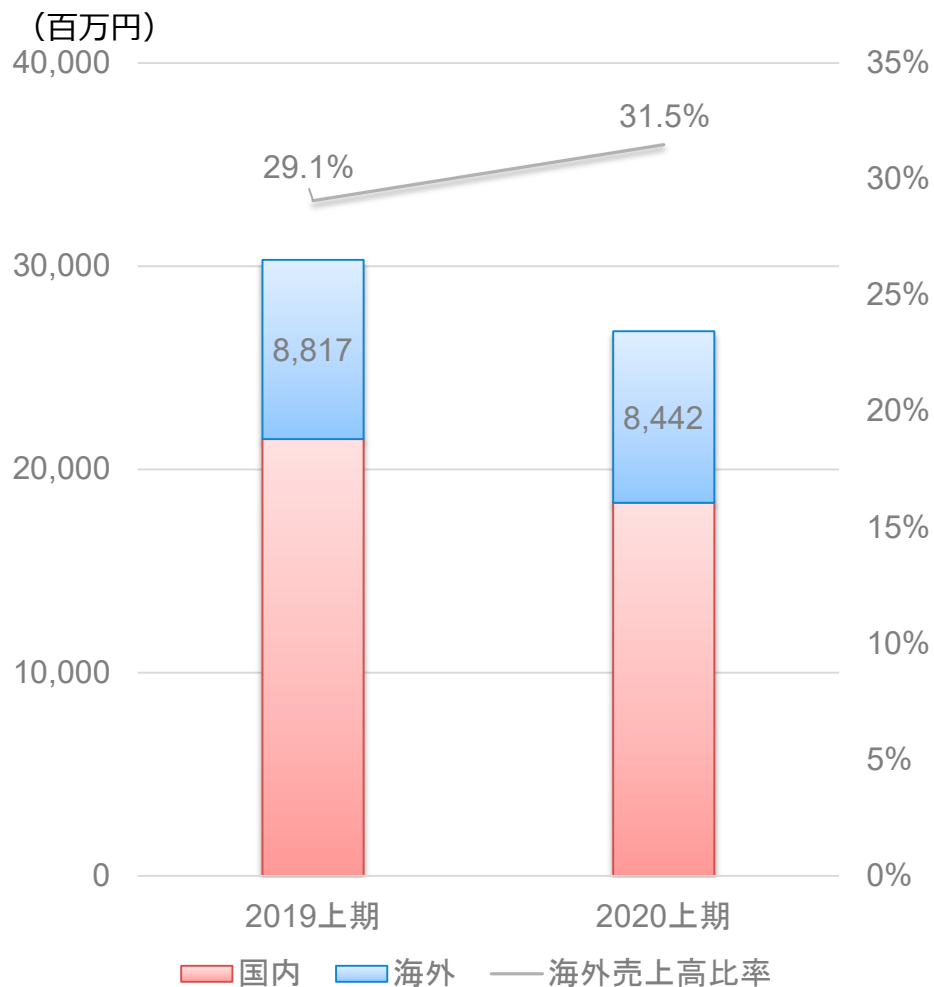
● COVID-19の影響

- 外出の自粛が要請される中、主要顧客である高齢者層は特に外出を控える状況
- 緊急事態宣言下、薬局・ドラッグストア店頭での推奨販売が難しい状況に

健創製薬株式会社を子会社化

- 2020年4月1日 健創製薬株式会社（旧社名：日水製薬医薬品販売）を完全子会社化
- 天然由来の成分を使用したOTC医薬品、健康食品等 約70品目を製造販売
- 健康未来創造研究会会員薬局（約1,900店）を中心とした全国販売網
- 肝臓水解物を自社製造
- コンシューマーヘルスケア事業の事業拡大
- 肝臓水解物の安定調達を目的とした生産拠点の確保
（トレーサビリティ、口蹄疫など疫病発生時のリスクヘッジ、etc）
- 特徴あるゼリアグループ製品の販路拡大

◆ 海外売上高はエントコートの出荷遅延の影響で前年同期比減



- 海外の一部の国において、エントコートの出荷遅延が発生
- 下期（7月以降）出荷は再開されており、通期では影響は解消される見込み

Ⅱ．2020年度連結業績予想

Ⅱ-1 医療用医薬品事業

Ⅱ-2 コンシューマーヘルスケア事業

Ⅱ-3 COVID-19関連の話題

Ⅱ-4 2021年3月期 連結業績概要

Ⅱ-5 開発パイプラインの状況

Ⅱ-6 持続的成長に向けた取り組み

通期予想における新型コロナウイルス感染症の影響について

- 新型コロナウイルス感染症の医療用医薬品事業に与える影響は限定的
- 患者の受診行動は抑制傾向で推移するが、長期処方増などにより処方数量に大きな影響は与えない
- 引き続き医療機関への訪問が規制されるなか、情報提供活動はe-ディテールに一層シフトする
- 海外市場においては輸送上の問題発生への懸念もあるが、年度内は計画通りの出荷を見込む

●アサコール

国内は競合品・後発品の影響を受けるものの、当社単独販売により業績に寄与
海外は引き続き堅調に推移

●イントコート

上期に一部の国で発生した出荷遅延は解消し、回復基調に

●アコファイド

新型コロナウイルス感染症拡大による患者の受診抑制は徐々に回復傾向へ

●フェインジェクト

医療機関への訪問規制の影響はあるものの、e-ディテールなどを活用した積極的な情報提供活動により市場育成

通期予想における新型コロナウイルス感染症の影響について

- 年度内に新型コロナウイルス感染症は終息しないものの、国の施策などにより社会活動は徐々に活性化
- 外出自粛に伴う影響も徐々に緩和
- 殺菌消毒薬など衛生用品の市場は引き続き好調に推移

- ヘパリーゼW群
年末年始の最需要期に向けた諸施策の強化により、売上は第2四半期と比較して更なる回復基調を見込む
- 医薬品ヘパリーゼ群
需要の回復を見込み、「疲労回復訴求」の強化により新たな需要を取り込む
- コンドロイチン群
推奨販売（店頭での接客機会）の減少を補うための施策を展開
- ウィズワン群
TV－CMと連動した店頭プロモーションにより、需要を掘り起こし
- その他
マジックハンドクリームなどの消毒・衛生用品は引き続き好調に推移
- 新製品の市場投入

手指消毒剤 マジックハンドクリーム シリーズ



F.T.Pharma 製品

- ◆ 重症COVID-19の治療薬として推奨されている
Dexametasone
- ◆ アカデミアや医療機関主導でCOVID-19治療薬候補として臨床試験が行われている
Ivermectin、Colchicine



	2020年3月期	2021年3月期	
	実績	予想	対前年伸率
(百万円)			
売上高	60,426	61,000	0.9%
営業利益	4,094	4,300	5.0%
経常利益	3,879	3,900	0.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,925	3,300	12.8%
一株当り配当	34円	34円(予想)	
研究開発費	6,342	6,200	-2.3%
広告宣伝費	3,390	2,600	-23.3%
海外売上高	18,754	19,500	4.0%

Ⅱ-5 開発パイプラインの状況

開発番号／名称	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認取得	販売
Z-213 (フェインジェクト)	鉄欠乏性貧血	日本（ゼリア）					
Z-206 (アサコール)	潰瘍性大腸炎	中国（Tillotts/ゼリア共同）					
Z-100	子宮頸癌	アジア共同治験（ゼリア）					
Z-338 (アコファイド)	小児 機能性ディスペプシア	日本（ゼリア）					
Z-338 (アコファイド)	機能性ディスペプシア	欧州（ゼリア）					
ZG-801	高カリウム血症	日本（ゼリア）					

◆ Z-100（子宮頸癌）：フェーズⅢ日本・アジア共同治験

- 子宮頸癌 ステージⅢB患者780例対象
- 日本、韓国、台湾、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナムで実施
- 最終被験者の組入れ後、5年間のフォローアップを継続中

共同治験を実施したアジア地域各国における申請を検討中

第10次中期経営計画（2020-2022年度）期間内の日本での製造販売承認申請を目標とする

ベルフェミンの発売に向けて

- 2020年9月
厚生労働省 薬事・食品衛生審議会要指導・一般用医薬品部会において、要指導薬としての承認が了承される
- 近々に製造販売承認されることに期待
- 予定効能効果
軽度の静脈還流障害（静脈の血流が滞ること）による次の諸症状の改善：
足（ふくらはぎ、足首など）のむくみ、むくみに伴う足のだるさ・重さ・疲れ・つっぱり感・痛み

ベルフェミン

- ◆ 欧州において下肢の静脈疾患（慢性静脈不全症）の治療に伝統的に使用されてきたセイヨウトチノキの種子乾燥エキス（HCSE）を有効成分とする医薬品
- ◆ セイヨウトチノキ種子乾燥エキス（HCSE）配合製剤
欧州医薬品庁（EMA）「下肢の慢性静脈不全症の諸症状に対して科学的根拠に基づく有効性及び安全性が実証された」医薬品と評価
- ◆ 1968年にドイツで販売されて以降、欧州十数ヵ国で一般用医薬品として販売



《投資》

ZGI において複数案件を検討中

- ・ 消化器領域および既存事業との親和性の高い領域の薬剤導入

M&Aを含めた成長戦略

- ・ 現有事業と相乗効果を発揮する領域
- ・ 経営資源など効率的な展開が可能な領域

《その他》

- ・ 自社製品の海外導出の推進

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203